

## 複合図形の面積をもとめるにどうしたらいいのかな？ 視点2

### 1. 単元名 円の面積（6年生 9月）

### 2. 改善の動機・意図

- ・複合図形づくりを行うことで、複合図形の構成について目を向けさせる。既習の面積から既習の面積をひいたり、既習の面積同士を合わせたりすることで複合図形が作られることに気づかせる。
- ・自ら作った複合図形の面積について、求めることができるものから面積を求める活動を取り入れる。それにより、苦手な児童が段階を踏んで取り組めるようにした。

### 3. 授業の構想

T1 （色抜きの複合図形を明示し）ここに色を塗っていくつ図形ができるかな？

C1 たくさんできた！友達と比べたら色塗る場所違うけど、形はおなじだ！

T2 この中で面積が求められる図形はあるかな？

C2 円を4つに分けた形は求められるよ

C3 ブーメランみたい形はどうやって求めるのかな？

T3 <  の面積はどうしたら求められるだろう？ >

T4 今までの学習を使うと求められそう？

C4 できそう！

色を塗った手元の図形を重ねたり、おったり、切ったりしてもいいことを伝え取り組む友達と相談しながら解決を図る

T5 どうやって求められた？

C5 この図形を正方形から円の4等分したものをひいた形とみたら計算で求められました。

C6 1個求められたら2個のものも求められそうだ！

C7 いろいろな図形が求められそうだ！

T6 <  はどうしたら求められるかな >

C8 これもブーメランみたいな形を使ったら求められそうだ！

T7 どんな考え方で求められるかな？

C9 さっきのブーメラン2つ分を正方形からひいたらわかるんじゃないかな

C10 真ん中に線を入れてたら三角形ができるよ。それなら円の4等分から三角形をひいてもわかるね

段階を踏んで、自ら問題を作っていく中で深めの問題に到達し、求めることで解決の手順を整理しながら考えることができるようになる。

